

令和7年1月11日

令和7年度新入生保護者 各位

さいたま市立西原中学校
PTA会長 小林 佑次

西原中学校PTAについて

西原中学校PTAは、令和7年12月開催の本部会にて、来年度のPTA体制をさらに縮小する方向性で協議を致しました。（正式には、令和7年5月の総会で会員様のご承認を頂く必要があります。）

本年度もPTA内の交流事業はすべて休止し、専門委員会の活動内容もスリム化し、子どもたちが不自由なく学校生活を送れることを主眼に活動してきました。

PTA活動は縮小しますが、今後も学校活動においては学校行事などに以前より人手とお金がかかる状況となっております。保護者の皆様は、「PTA」という名前に様々な印象をお持ちかもしれませんが、ぜひ、「PTA」を「子どもが成長するための学校活動援助」と読み替えて、ご加入くださいますようお願い致します。

～縮小しながらも、PTAがまだ存在しなければならない背景（西原中学校の場合）～

1. 人手不足について

現在、全国的に小学校・中学校・高校の教職員数が不足していると言われています。西原中学校も授業を除けば例外ではなく、特に学校行事においては、先生方だけでは運営しきれないのが現状です。

そのため、学校行事においては、PTAのお手伝いが必要となります。行事開催の都度ボランティアを募り充足できれば良いですが、ボランティアを集める係や運営方法を教える係など、やはり、運営方法を引き継げるPTA体制が現在のところ必要です。

2. 学校活動・部活動への援助について

さいたま市からの学校予算は限られ、学校活動および部活動にはPTAから活動のための援助金をお渡ししています。

PTA会員の皆様からお預かりする大切な会費は、PTA自身のために使うのではなく、生徒たちが少しでも不自由を感じずに学校生活を送れるように使用しています。

今後も物価高騰により例年に増して費用がかかることが想定されます。学校生活に不自由をきたす状況とならないよう、引き続き物的支援を行っています。

～PTA会員が減少することについて～

PTA会員が減少すると、必然的にPTA予算は減少していきます。

前述した通り、PTA予算はPTA内の活動ではなく、生徒たちの学校生活のために使用しています。

そのため、PTA会員数が減少すると、生徒たちへの補助が縮小されることとなります。

PTAは加入が任意のものであり、非加入であって不利益を被ることはありません。ただし、別の見方をすると、PTA会員の会費によって、PTA非会員のお子様たちも学校生活を不自由なく送ることができています。生徒数に対して、支える側（会員）が少なくなることにより、生徒に対して援助できるものも少なくなっていく可能性があります。

～役員を辞退する条件でPTAに加入できます～

PTAに加入すると、会員の中から役員が選ばれPTAを運営します。これまで多くの会員様が自薦・他薦あるいはくじ引きで役員を担当してこられました。

しかし、時間の調整が難しい方、さまざまなご事情をお持ちの方など、各ご家庭で役員を受けることが現実的に困難であることは、以前実施したアンケートでよく理解ができ、本部会でも十分に協議を致しました。

その結果、ご事情のある方、どうしても役員になれない方・なりたくない方は、「役員辞退」の選択肢も設けております。この場合、「人的支援」ではなく、「物的支援（会費）」という意味合いでのご加入となります。

もちろん、全員が「役員辞退でのご加入」という選択肢を選んだ場合には、PTA会費の集金さえ不可能な状況となりますが、少数であれば少数なりにできる範囲の活動を続けていく考えです。学校行事など、お手伝いが必要な際には保護者の皆様にもお声がけを致しますので、ぜひ子どもたちのためにボランティアのご協力を何卒よろしくお願い致します。

～ 令和7年度 西原中学校PTAの方向性 ～

- | | |
|------------------|--|
| 1. 子どもの成長に寄与する事業 | → 西原☆フェスティバルの一事業。運営にはボランティアも募集いたします。 |
| 2. PTA内の交流事業 | → 休止し、今後廃止します |
| 3. 学校活動援助 | → 生徒の学校生活に不自由をきたさないよう継続および強化していきます |
| 4. PTA体制の縮小化 | |
| (ア) 本部組織 | 本部（役員・サポーター）のみとし、必要最低限の運営業務とします。
学校行事のお手伝いが必要な場合は、都度ボランティアを募集します。 |
| (イ) 各専門委員会 | 専門委員会は休止します（今後廃止予定）。 |
| (ウ) 地区委員会 | 各地区の自治会様との関係性を考慮し、1年間継続し、令和7年度末をもって休止予定。 |